

事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む	事業群主管所属	教育庁学芸文化課
施策名	(4) 我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成	課(室)長名	金子 真二
事業群名	⑥ 創造性や独創性など豊かな人間性を育てる子どもたちの文化芸術活動の推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

子どもたちの文化力の向上とすそ野の拡大を図るため、市町教育委員会や中学校文化連盟、高等学校文化連盟と連携し、中高を通じて文化力を向上させる施策に取り組みます。また、文化芸術の鑑賞や成果発表の機会を提供し、子どもたちの文化活動を推進します。

事業群指標	最終目標 (H32)	基準値 (H26)	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】
「子ども県展」への応募率	67.0%	60.0%	65.9%	-	市町教育委員会や県造形教育研究会と十分に連携した事業展開により、県内児童生徒の図工・美術に対する意欲・関心を高め、創造の喜びを体験させ、豊かな情操の育成を図ることが県内に周知され、定着してきた結果、「子ども県展」への応募数が増加している。<H23: 55.3% (67,707/122,358)、H24: 58.7% (70,168/119,500)、H25: 60.6% (71,605/117,263)、H26: 59.9% (68,837/114,903)、H27: 65.9% (74,711/113,438)> (応募者数/全児童生徒数)
事業群の進捗状況		-			

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

《取組項目及び現状と課題》

i) 中高対象の研修会の実施や文化部活動への支援

- ・少子高齢化が進み、子どもたちの数が減少している中、地域の次の時代を担う児童生徒の文化活動を活性化させ、地域に潤いと活力を高めていくことが肝要である。
- ・学校文化活動のリーダーを育成し、児童生徒の文化活動を活性化することは、地域活性化の重要な要素となることから、児童生徒、教員に対する研修会等を実施している。
- ・また、活動が顕著であり、成果を挙げている文化部活動への助成や全国大会、県大会等への参加費助成により、中・高校生の積極的な文化活動を推進している。

ii) 小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供

- ・地域活力が低下する中、地域の次代を担う子どもたちに芸術の鑑賞機会、成果発表機会を提供し、地域に潤いと活力を高めていくことが肝要である。
- ・子どもたちの創造性や独創性、感動する心など、豊かな人間性とたくましい心を育むため、美術作品の発表の場として、県展の子ども版である「子ども県展」を実施している。
- ・また、日本青少年文化センターや日本児童青少年演劇協会と共催し、児童生徒に対し、邦楽、古典芸能、器楽、児童劇、演劇などの「長崎県青少年劇場」を実施している。
- ・さらに、音楽活動の振興と青少年の豊かな心の育成を図っていくため、「ながさき“若い芽”のコンサート」を実施している。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業		
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率				
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—	—				
取組項目 i	中学校・高等学校文化活動推進事業費	H18-	28,161	28,161	8,056	中学生、高校生、教員	中学校・高等学校の文化活動を強化するため、文化活動推進指定校や県総合文化祭の開催などを支援した。また、平成30年度全国中学校総合文化祭長崎大会開催に向け、中学生の文化力のレベルアップを図った。	活動指標	文化活動推進校に指定した学校数(校)	20	20	100%	本事業で実施された合宿・遠征や講師招聘事業等の活動により、生徒のレベルアップが図られ、毎年全国大会や同規模の大会、各種コンクールで上位入賞を果たす部門があり、これまでの継続した指定事業の実施により成果が上がっている。	○		
	学芸文化課		27,046	27,046	6,452			成果指標	九州大会以上で入賞した部活動数(部)	20	17	85%				
取組項目 ii	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業	H18-	2,337	2,337	5,639	小学生、中学生	県内小・中学校の児童生徒を対象に作品を募集し、作品展を開催・巡回することにより、児童・生徒の図工・美術に対する関心を高め、併せて創造の喜びを味わわせ、豊かな情操を養い、造形活動の活性化を図った。	活動指標	子ども県展参加校数の割合(%)	—	91	—			作品の応募数や応募率は前年度を上回り、作品に取り組んだ子どもたちは、制作や鑑賞を通じて、美術に対する興味・関心を高めることができた。	○
	学芸文化課		2,618	2,618	4,839			成果指標	子ども県展応募者数(人)	—	74,711	—				
	子ども舞台芸術鑑賞事業	H18-	12,284	12,284	6,445	幼児、小学生、中学生、高校生	小・中・特別支援学校の児童・生徒を対象に、音楽・演劇・古典芸能など優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、離島の高等学校の生徒が伝統芸能に触れる機会を提供。	活動指標	青少年劇場公演数(公演)	29	29	100%	鑑賞事業を開催する学校だけでなく、近隣の学校にも参加を促すことにより、多くの児童生徒に対して鑑賞する機会が高まった。	○		
			学芸文化課	11,846	11,846			6,452	成果指標	青少年劇場鑑賞者数(人)	7,875	8,821				
	ながさき“若い芽”のコンサート開催費	S62-	2,978	2,978	4,028	小学生、中学生、高校生	青少年のクラシック音楽の発表機会を提供し、豊かな心の育成と青少年活動の振興を図った。	活動指標	コンサート開催回数(回)	1	1	100%			ながさき“若い芽”のコンサートはクラシック音楽に取り組む県内児童生徒の一つの大きな目標となっており、多くの児童生徒のクラシック音楽に対する興味関心を高めることができた。	○
			学芸文化課	3,267	3,267			4,033	成果指標	オー디션応募者数(人)	139	128				
									1	—	—					
										142	—	—				

3. 検証及び問題点の抽出

【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

- i)
- ・平成30年度に本県で開催される全国中学校総合文化祭に向けて、学校文化活動のさらなる活性化を図っていくための取組を推進していく必要がある。
- ii)
- ・音楽・演劇・古典芸能など優れた舞台芸術の鑑賞事業は、鑑賞機会の少ない離島・半島地域の学校や特別支援学校を優先して実施しており、毎年度約8,000名の児童生徒が鑑賞している。
 - ・「子ども県展」は、県内すべての小中学校の学習活動で制作した作品の発表の場・鑑賞の場として定着し、市町や関係機関、各種団体などから数多くの作品募集があるなかでも、子どもたちの大きな目標となっており、年々参加率が向上している。
 - ・「ながさき“若い芽”のコンサート」は、他のコンクールに類をみない声楽、ピアノ、弦楽器、ギター、管楽器・打楽器の5部門で構成されたコンサートである。したがって、様々な形でクラシック音楽に取り組む県内小中高生の目標となっており、子どもたちの豊かな情操を養い、より豊かな人間性を育てていることから、引き続き、成果発表の機会を確保していく必要がある。



4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】			見直し区分
	事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	
i) 中高対象の研修会の実施や文化部活動への支援 日頃の文化活動の成果を発表する機会をより一層充実させるため、引き続き、中学校文化連盟及び高等学校文化連盟と連携した推進校の指定や財政的支援により、中学校・高等学校の文化活動への活性化を図っていく。	中学校・高等学校文化活動推進事業費	②	中学校及び高等学校において文化連盟が組織され、市町や学校の枠を超えた文化活動を展開し、各種全国大会で優秀な成績を収めるとともに、県民へ成果を公表するための総合文化祭を開催しており、平成28年度は、高等学校が佐世保市で、中学校が長崎市で開催予定である。平成30年度には全国中学校総合文化祭が本県で開催される予定であり、子どもたちのさらなる文化活動の活性化につながるよう事業内容を精査し、中学校と高等学校の連携強化を図っていく必要がある。	改善
ii) 小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供 芸術鑑賞は、次代を担う子どもたちにとって、芸術を身近に感じる貴重な実体験であり、芸術に対する興味・関心を高める絶好の機会である。また、日頃の芸術活動の成果を発表することは、子どもたちの文化活動の活性化や創造性・独創性などの豊かな人間性を育む上で非常に重要であり、引き続き、芸術鑑賞や成果発表の機会の提供を図っていく。	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業	—	「子ども県展」は、学校活動において制作した作品の発表の場として、子どもたちの目標となっており、平成28年度は、総合展を長崎市、巡回展を佐世保市・対馬市で開催予定である。引き続き、子どもたちの図工・美術に対する関心を、さらに高め、豊かな情操を養い、造形活動の活性化を図るため、本事業の推進は必要である。	現状維持
	子ども舞台芸術鑑賞事業	—	「子ども舞台芸術鑑賞事業」は、子どもたちの発達段階に応じた文化芸術の生の舞台を鑑賞する機会を提供しており、平成28年度は、75校で約8,000名の児童生徒が鑑賞予定である。引き続き、子どもたちの豊かな情操を養い、より豊かな人間性を育むため、本事業の推進は必要である。	現状維持
	ながさき“若い芽”のコンサート開催費	—	「ながさき“若い芽”のコンサート」は、クラシック音楽を志す子どもたちの目標となっており、本コンサートに出演した子どもたちの多くは、「長崎新人演奏会」への出演や全国大会における上位入賞を果たすなど優秀な成績を収めており、参加者数は増加傾向にあり、平成28年度はオーディションを諫早市で、コンサートを東彼杵町で開催予定である。引き続き、子どもたちの豊かな情操を養い、より豊かな人間性を育むため、本事業の推進は必要である。	現状維持